

風の会 通信10号

http://www.g-kaze.com

事務局：〒534-0024 大阪市都島区東野田町2丁目8-2 久豊二番館 株式会社ヒット内 5階
TEL:06-6356-8786 FAX:06-6356-0904 e-mail:info@g-kaze.com

みんなが主役!
風の会
ゴールデンエイジネットワーク

写真：中川嘉夫さん
セイム研究所所長
(マーケティング・コンサルタント)

枚方・山田池公園で撮影。
山田池は、およそ1200年前に灌漑用のため池として築造されました。現在は人々が集う自然公園として親しまれています。6月には、花菖蒲、睡蓮、アジサイが鑑賞できます。



「若狭で養蚕部」理事長 小玉 文吾さん
昔、庭先に「縁台」があった。板張りで畳一枚分の台だが、庶民が永年の知恵と経験で作った。癒しの道具で、家族だけでなく近所の人たちも来て腰をおろした。世代に関係なく人が集まるとちは遊んでいた。
地域の青年団のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちも顔を出した。縁台に坐る彼らは、子どもたちの憧れの人であり、恐い存在でもあった。何か良からぬことをすれば、縁台の片隅で容赦なく叱られたのである。縁台は子どもたちにとって、社会的な常識とルールを教えてくれる場であり家族と地域を結ぶ絆であった。しかしその縁台が日本経済の発展と共に消えて行き、地域の柱ともなっていた、あのお兄さんお姉さんまでが縁台と共に地域から消えてしまったのである。
昔、縁台があった頃、家族に絆があった。人は助け合わなければ生きて行けなかったのだ。一つの食べ物に分けて食べ、親は自分の食を子に譲った。寒い時には身体を寄せ合って暖を取り、ちやぶ台が勉強机だった。

縁台的住宅

リレーエッセイ

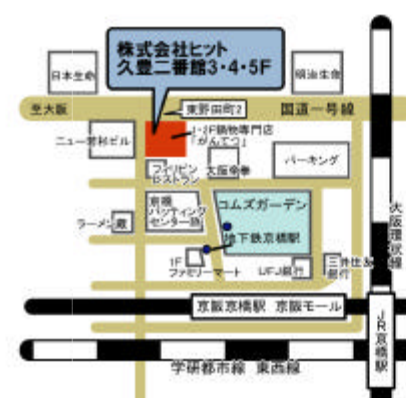
小玉 文吾さん

あれから五十余年。物の豊かな社会を作った私たちの世代は同時にストレス列島と言われるまでの「病める社会」を作ってしまったのである。
今、世間では、病める社会の原因によりやく気づき始め、その反省から提案されているのがコレクティブハウジング(3面に関連記事)やグループハウスである。共同空間を多く取った集合住宅で仲間同士が支え合うシステムで、お互いの個性を尊重し体温を感じる。ゆるやかな絆のある住まいの提案である。いわば昔の縁台的住宅である。
現代は子どもがケイタイに象徴されるように人々は孤独で淋しく「ジコ虫」の時代である。コレクティブハウジングやグループハウスは心の縁台をつくるもの。その縁台、即ち、現代の夢の縁台を住民と共につくりたいと意欲を燃やしている。



元朝日新聞健康増進部 通称ママさん、退職後

「今が生如」と「ママさんの生如」を主催されたり、コレクティブハウジングの建設に携われたり、シニアライフを楽しめる活動に走り回っておられます。



風の会

ゴールデンエイジネットワーク

事務局：河本 雷夫
〒534-0024
大阪市都島区東野田町2丁目8-2
久豊二番館 株式会社ヒット内5階
http://www.g-kaze.com
e-mail:info@g-kaze.com
Tel:06-6356-8786
Fax:06-6356-0904

友遊会からのお知らせ

5月19日(水)の友遊会「題名なし、テーマなし」云いたい放題、聞きたい放題、自由に発言してください。原則として一人3分程度、それを超えて何か話したい人は、当日世話役に申し出てください。(話したくない人の時間を譲ります。)
ただし、アコーディオンの演奏時間は別枠です。

編集後記

高度経済成長後のバブルによって日本人が失ったものは沢山ありますが、心のふるさとの喪失もその一つだと思います。物理的立場所の荒廃だけでなく、少子高齢化の波は、ふるさとへの風土とも云うべき農・漁村地帯に少なからずダメージを与えています。
これから日本再生のキーワードはふるさとへの復権と、高齢化社会の明確なビジョンではないかと思えます。
高齢者が増える社会は多くの可処分所得を持つ人が増える社会でもあります。世に云われている様な困った社会ではありません。環境を大切に、不要なものは作らず、若者と高齢者が共存できるふるさと作りがこれからのテーマのように思います。
風の会では心のふるさとを紹介し、できれば少人数で訪問する企画が実現できればと思っています。アイデアをお寄せください。
風の会代表 河本雷夫

メキシコのタピ

2月にメキシコ名誉領事館オープンしました。それを記念した特別交流イベントが開かれます。
日時 6月13日(木)19時～
場所 南田スカイビル 空中庭園展望台
料金 700円 (食事は別途1000円)
食事を希望される方は10日までに要事前予約
問合せ メキシコ名誉領事館 06-644003870

芥川賞受賞作家・玄侑宗久氏 講演会

「宗教・文学・人生」
現役僧侶が生と死の間を見つめた『中興の花』で芥川賞を受賞された玄侑宗久氏が講演していただきます。
日時 6月22日(土)午後2時～
場所 尼がつかガーデン
参加費 千円
申込み 心くろくろの会事務局(瀬川)
TEL/FAX 06-6662911788

「ありがとう草原の人たち」出版

モンゴル初体験記
「もっと川の近くにゲルを組んだら楽しいやない?」「川のそばに人間が陣取ったら、動物たちが寄れなくなる」日本人の忘れていた生活を続けているモンゴルに魅せられ、支援活動を続けておられるもり・けんさんが、モンゴルを体験した人たちの声を集めた初体験集『ありがとう草原の人たち』を出版されました。この本の収益は全てモンゴルのために使われます。お問い合わせはH・U・M企画まで
TEL/FAX 06-6355217946